

●ブックトークシナリオ

【テーマ】 走る！
【対象】 小学校5・6年生
【所要時間】 20分

シナリオの記載方法について

- ・動作は□で囲ってあります。
- ・表示したページ番号は、ここで使用した本によります。版が違う場合は、確認してください。
- ・本を朗読する部分は、【 】で囲った太字になっています。
- ・本と本をつなぐ言葉は二重下線を引いてあります。

【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	走れ！ヒットン	須藤靖貴／著	講談社	2017
2	速く走るコツ大研究	征矢範子／監修	PHP研究所	2012
3	ヒット商品研究所へようこそ！	こうやまのりお／著	講談社	2011
4	転んでも、大丈夫	臼井二美男／著	ポプラ社	2016
5	風のヒルクライム	加部鈴子／著	岩崎書店	2015

【シナリオ】

●導入

走る競技に関係する学校行事（例：運動会、マラソン大会、持久走）を●●に入れ、次にテーマを言う

もうすぐ●●ですね。そこで今日は、「走る！」をテーマに本を紹介します。

1 『走れ！ヒットン』

表紙を見せ、バトンを持って走る女の子のイラストを指さす

この本『走れ！ヒットン』の主人公、ひとみは小学校6年生。ヒットンというニックネームで呼ばれています。ヒットンは小学校5年生までずっとリレーの選手で、運動会を楽しみにしていました。ところが足を捻挫し、リレーに出ることができなくなりました。泣いて落ち込むヒットンに担任の先生はこんな言葉をかけました。読みます。

p.17 1行目～4行目を読む 【「ヒットンは新聞委員なんだから、取材に走ろうよ。（中略）運動会では走れないけど、運動会の取材で思いきり走ろう」】

こう励まされ、元気を出します。ヒットン達、新聞委員は取材を始め、

p.122～123 新聞を見せ、見出しと本文の一部を読む

「花の木小新聞」運動会直前号を発行しました。どんな記事かというと、例えば【スペシャルインタビュー「運動会のすばらしさ」について、米村寛子校長先生にお聞きしました！】【リレー代表の意気込み「全力で走りぬきます。お昼のお弁当は、食べすぎないようにしないと」五年二組 赤桐山伸太郎】

p.83 組み体操の絵を見せる

捻挫したヒットンはリレーの参加は無理ですが、クラスの組み体操には出ることができます。これはその練習の様子です。上に乗っているのは、にぎやかな男子ダッチュ。ダッチュは皆に支えられ

て、高いところで立ち上がったたり、後ろ向きに倒れたりします。ところが、支える側、特に右端の男子エガワのタイミングが悪くてうまくできず、トラブルになってしまいます。

p.84 5行目～p85 3行目を読む 【まずはダッチュの体をおこす練習。(中略)ダッチュの言葉にエガワがぼそっと反論した。】

そして、運動会当日、ヒットンが新聞委員として取材に走り回っていると、ある事件が起きました。校舎の窓ガラスに貼られた運動会のスローガン「えがおいっぱい」が、組み体操で支える側にいた男子エガワをからかうある言葉に変わってしまったのです。運動会はいったいどうなってしまうのでしょうか？

表紙を見せる

続きが気になる人はこの本『走れ！ヒットン』を読んでみましょう。

2 『速く走るコツ大研究』

ヒットンは運動会を楽しみにしていました。けれども運動会が嫌いな人もいます。その理由が走るのが苦手だから嫌、という人におすすめの本がこちら。

表紙を見せる

『速く走るコツ大研究』です。この本によると、速く走ることができない時は原因があります。

p.22～23 写真を見せ、気をつける4項目を読み、写真を順に指さす

この写真を見てください。原因は【1 あごが上がる】【2 ひじが横にふれる】【3 ひざが上がらない】【4 足をかかとからついてしまう】。

では、どうすればいいのでしょうか？解決方法も書いてあります。

p.25 写真を見せる

例えば、ひざが上がらない時、このように腕を大きくふって、ももを上げるトレーニングをするとよいそうです。

p.34 写真を見せる

他にも、スタート直後にどこを見て、どんな姿勢をすればよいかというコツが書いてあるので読んでみましょう。リレーのバトンパスのやり方も書いてあります。

3 『ヒット商品研究所へようこそ!』

さっきの本は速く走るためのコツやトレーニングがわかる本でしたが、

表紙の靴の写真を見せる

この『ヒット商品研究所へようこそ!』は、運動会で速く走りたいという願いを叶えるために作られた靴の話が紹介されています。靴の名前は「瞬足」といいます。どんな靴かというと

p.89 7行目～8行目を読む 【「ええっ、コーナーで転ばないで、しかも速く走れるくつを作るんですか?」「なんとかして、そういうくつができませんか?」】

靴を作った会社、アキレスの人たちは、トラックの「コーナーで転ばない」靴、そして「速く走れる靴」を作ろうと思いました。そのためにこんなアイデアを出しました。

p.90 7行目～8行目を読む 【「コーナーで転ばないためには、トラックは左まわりなんだから、両足のくつ底の左側だけにスパイクをつけばいいんじゃないですか?」】

スパイクというのは滑り止めのことです。アキレスの人たちは、これまで作られてきた左右がぴったり合う靴底ではなく、左側だけにスパイクを付けようと思いました。速く走れる夢の靴はうまく作ることができたのでしょうか？

表紙を見せる

答えを知りたい人は後で『ヒット商品研究所へようこそ!』をチェックしてみましょう。

4 『転んでも、大丈夫』

表紙を見せ、男の子、男性の順に指さす

この男の子は、柚稀^{ゆずき}くん、小学校5年生。サッカーが大好きな少年です。柚稀くんは病気でなくした右足の代わりに義足を使っています。柚稀くんの隣にいるのが、義足を作った人、臼井さんです。

口絵(本の最初の写真のページ)の写真「先輩に教えてもらいながら、楽しそうに走る福田柚稀く

ん」を見せ、指さす

写真の真ん中にいるのが柚稀くんです。とても楽しそうに走っていますね。義足で走れるのかな？
と思った人はいませんか？ 先程紹介した臼井さんが、日本で初めて走ることができるスポーツ義
足を作りました。

柚稀くんは、

p.89 11行目を読む 【「板バネって、ヒーローみたいでかっこいい！ほくもつけて走って
みたい】とスポーツ用義足で走る練習を始めました。練習の時の柚稀くんの気持ちが書いてあるの
で読みます。

p.99 11行目～p100 13行目を読む 【板バネで走ると、体より板バネのほうがどんど
ん先にいっちゃう感じがして、体がついていくのがたいへんでした。(中略)これからも、サッカ
ーも陸上もつづけて、将来はアスリートになれたらいいなと思います。】

表紙を見せる

この本『転んでも、大丈夫』には柚稀くんの体験の他にも、臼井さんの義足を作る仕事のことや、
パラリンピックで活躍する選手の話がたくさん紹介されています。山梨県出身の男子走り高跳びで
東京2020パラリンピック出場が内定した鈴木徹選手の話も掲載されています。

5『風のホテルクライム』

前の本で柚稀くんの夢はアスリートになること、でした。アスリートが目指す大会といえば東京
2020オリンピック・パラリンピックです。そこで、県内初のオリンピック競技となる自転車競技ロ
ードレースを舞台にした物語『風のホテルクライム』を紹介します。

表紙を見せ、男の子のイラストを指さす

この本はレースに参加した6人の選手やボランティアが章ごとに交替で主人公になります。
トップバッターは、この男の子。中学1年になったばかりの涼太です。青いロードバイクは父さん
からの誕生日プレゼントです。でも涼太は今とても怒っています。怒っている理由がこちら。

p.32 2行目～9行目を読む 【「でも、せっかくレースに出るなら、道具はこだわらないとな」
(中略)「どういことだよ。そんな勝手に！」】

父さんは働いている病院が忙しくいつもは構ってくれないのに、勝手に自分の趣味と同じロードバ
イクを涼太にプレゼントし、ロードレースにもエントリーしました。怒った涼太は父さんと賭けを
しました。

p.34 8行目～15行目を読む 【「よし、決まった」父さんがしたり顔でニヤリと笑う。「無事
ゴールできたら、なんでも好きなもの買ってやるぞ」(中略)「ああ。なんでも言うことを聞いて
やるさ」「約束だからな！」】

裏表紙を見せ、赤い男の子のイラストを指さす

こうして父さんと一緒に参加したレースで涼太が出会ったのは、同級生の目黒俊介です。俊介は世
界最大の自転車レース、ツール・ド・フランスを目指して、小学生の時からレースに出場していま
す。俊介も怒りながら走っています。理由はもっといいロードバイクが欲しいのに高く買えない
からです。

裏表紙を見せ、学ランの高校生のイラストを指さす

そんな俊介を追い抜いたのがママチャリ(シティサイクル)に乗った謎の高校生です。抜き返すと、
高校生からあつという間に追い越されました。必死で食らいつきましたが、段差にタイヤを取られ
て転び、弾みでチェーンは外れ、タイヤがパンクしました。リタイアしようと考えた時、高校生が
戻り修理を手伝おうとします。思わず俊介はこう言いました。

p.96 1行目～15行目を読む 【「先にいってください。そんなに速いのに、もったいないで
す」(中略) どうして速く走れるのか、知りたくてたまらなかった】

表紙を見せる

さて、涼太の初レースはどうなっているのでしょうか？ さっさと先に行ってしまった父さんに涼太が
追いついたのは、父さんが具合の悪い人を救うため応急手当をした時でした。

父さんは俊介のロードバイクのパンクも修理した後、過労と熱中症で倒れてしまいます。そこで涼
太は俊介と高校生と一緒にゴールを目指します。

何とかゴールした涼太は、父さんと交わした約束のことで迷っていました。その場面を読みます。

p.167 7行目～p.168 8行目を読む 【翌日まで安静といわれ、アパートでごろごろしていた父さんに、おれは言いださそうか迷っていた。(中略)あれを見たとき、おれの考えていたことは本当に正しいのか自信がなくなった。】

さあ、この後、涼太は父さんにどんなお願いをしたのでしょうか？

●まとめ

紹介した本の表紙を順に見せ、本の書名を言う

今日は、「走る！」というテーマで本を紹介しました。

新聞委員として取材に走ったヒットンと、ある事件のことを描いた物語『走れ！ヒットン』、走るためのポイントを紹介した『速く走るコツ大研究』、速く走れる夢の靴を作った人たちを紹介した『ヒット商品研究所へようこそ!』、スポーツ義足で走ることを楽しむ少年の話『転んでも、大丈夫』、自転車ロードレースを舞台にした物語『風のホテルクライム』です。

今日紹介した本は、全部図書館にありますので、ぜひ読んでください。

山梨県立図書館 2020.7